

●本リリース(全1枚)は、大分県政記者クラブ・別府市政記者クラブ・福岡経済記者クラブ加盟各社に送信しています。

Shape your world



Ritsumeikan  
Asia Pacific University

## お知らせ

立命館アジア太平洋大学

2016年4月22日

APU リリース 2016-8

報道機関 各位

# APU 学生らによる活発な震災支援 「被災地のために何かしたい！」

立命館アジア太平洋大学（APU）の学生の震災支援活動についてお知らせします。

4月14日(木)に起きた地震翌日から本学学生有志が募金活動を始めました。その後も別府駅等で募金活動を行い、21日(木)には学生団体「KOKOKARA」、「Go to Kumamoto」、「Move for Kyushu」の3団体が協力し、別府の店舗や市民の皆様へ、支援物資や支援金の協力を要請しました。その結果、多くの支援物資等が集まりました。本日22日(金)は、集まった物資の仕分けや現地で必要とされている物品の買い出し等を行い、先に熊本に向かった同団体メンバーや新たにこの活動に加わった学生団体「Information Beppu」に続いて、今夜第2弾として、熊本県の被災地に届ける予定です。

### 【代表者コメント】

「KOKOKARA」代表 今井紫園（いまいしおん）さん（アジア太平洋学部3回生）：「私たち KOKOKARA はこれまで1年近く、東日本大震災の被災地と被災者の方と関わってきました。そして今回、この経験を少しでも活かせるのではと思い、同じ復興を目的に活動している学生たちと手を取り、協力していこうと考えました。被災地のみなさんが少しでも早く笑顔を取り戻せるように、APUの学生だからこそできること、APUの学生にしかできないことをしていきたいと思っています。」

「Go to Kumamoto」代表 坂口健心（さかぐちけんしん）さん（国際経営学部1回生）：「16日の阿蘇を震源とする本震の後、すぐに3人のメンバーで熊本の被災地に行きました。現地では支援物資の搬入、ボランティア活動、メディア発信を行いました。「単純に何か被災地のためにしたい。少しでも力になりたい。隣の県にいて動ける身なのに行かない理由がない」—率直にそう思ったので今回の活動を始めました。目標としては、被災地の復興、それだけです。力を合わせて長期的に、精力的に活動していこうと思います。」



左：集まった支援物資と学生

右：集まったタオルやティッシュなど

【本発表資料のお問い合わせ先】 学長室（広報）担当：加藤・宮腰

Tel:0977-78-1114 携帯:090-5473-3803 住所：〒874-8577 大分県別府市十文字原 1-1

APU ウェブサイト：<http://www.apu.ac.jp/home/>

フェイスブック：<https://www.facebook.com/apunews/>